6

CO-DESIGN STUDIO Dgraph company newsletter

THE CO-D WEB TIMES

TEL：050-1726-5272　Mail：dgraph-info@dgraph-web.com　https://dgraph-web.com/

©2025 Dgraph LLC. All rights reserved.

2026.06.01. Monday.　ディーグラフ通信

ホームページの鮮度は保たれてますか？

紫陽花の花が雨に映える時期となりました。この時期は湿気の影響で、身の回りのモノが少しずつ「痛み」やすくなる時期でもあります。

これはホームページも同じです。時間の経過という「湿気」が、サイトの情報に少しずつ錆やカビを発生させてしまうことがあります。

例えば、このようなことはありませんか？
・「お知らせ」が数年前のまま止まっている
・リンク先が既に閉鎖されて繋がらない
・掲載内容が、現在の自社の状況と微妙に食い違っている

ユーザーは、サイトを訪れた瞬間に「この情報は生きているか？」を直感的に判断します。情報が更新されていないサイトは、訪問者に「現在は営業していないのではないか？」「対応が遅い企業ではないか？」といった疑念を抱かせ、せっかくのホームページが不信感を抱かせてしまう原因になりかねません。

そこでお勧めするのが、サイトの大掃除です。リンクの確認、古い情報の整理、最新のニュースの掲載など、少しのメンテナンスで驚くほど新鮮な信頼感を取り戻します。

「どこから手を付ければいいかわからない」「自分たちで更新するのが難しい箇所がある」そんな時は弊社にお任せください。プロの視点で、リンク切れや情報の整合性、導線の不具合からCMSセキュリティの更新作業まで細部に至る診断・点検を承ります。

まずは現状の確認だけでも、お気軽にご相談ください。

＜ホームページの「余白」について＞

せっかくホームページを公開したのだから、あれもこれもといろんな情報を発信されているご担当者の方も多いと思います。しかし、その努力は時に逆効果になる場合もあります。

情報がぎっしり詰め込まれたサイトは、閲覧者を疲れさせてしまいます。画面越しに多くの情報を受け取り続ける現代社会では、要素を詰め込みすぎない余白のあるデザインが閲覧者に心地よい余裕と信頼感を与えます。

＜余白デザインの手法例＞

例えば、このような工夫が可能です。
・情報の整理： 大切なメッセージを伝えるために、あえて主題の周りを囲む余白を広く大きくとり、視線を一点に集中させる。
・透明感のある配色： 雨の日の曇り空のようなニュアンスカラー（くすみカラー）を背景やアクセントに取り入れ、洗練された落ち着きを演出する。
・呼吸するデザイン： ぎっしり並んだテキストに適度なゆとり（行間・文字間）を持たせ、ユーザーが読み疲れしない情報の呼吸を作る。

＜余白の必要性＞

余白は、単なる空いたスペースではありません。ユーザーに主題となる情報を理解してもらうための「間（ま）」であり、ブランドの品格を伝えるための大切な情報のひとつです。

皆様のホームページは、ユーザーにとって「心地よく情報を得られるスペース」になっているでしょうか？もし、「情報が多くてごちゃごちゃしているかも…」「もっと洗練された印象に見せたい」といったお悩みがございましたらお聞かせください。

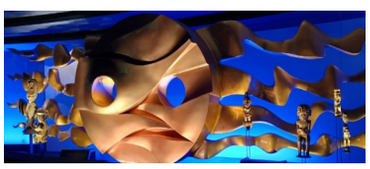
テキストのフォントやサイズ・行間・文字間を微調整するだけで、スッキリと見やすい印象を与えることも可能です。弊社デザイナーが御社サイトに最適な心地よい余白をご提案いたします。

定番の魅力再発見の旅はいかが？

ベタで定番の観光地をあえて訪れる「大人の修学旅行」として訪れた万博記念公園の「太陽の塔」。幼少の頃には気づけなかった、本物の凄みに圧倒されました。

塔の内部に足を踏み入れると、岡本太郎氏が込めた生命の進化という強烈なコンセプトと、狂気とも言える芸術性が空間全体から迫ってきます。さらに驚いたのは、この有機的で前衛的なデザインを、半世紀前の技術で完璧な構造物へと仕上げた技術者たちの執念と情熱です。

長年愛され続ける観光名所には、一流の思想と努力が結晶した明確な理由があります。意図的に定番の真ん中に身を置くからこそ、大人の経験と感性でその神髄を読み解き将来の革新へと発展させる、最高の知的冒険が味わえる気がします。



今月のヒトコト

梅雨の季節、降り続く雨に少し憂鬱な気分になることもありますよね。実はこの時期、サイトマーケティングにおいても雨の降り方になぞらえられる教訓があります。

一気にアクセスを集める広告運用などの集中豪雨のような集客は、サイトに一時的な潤いとともに大きな負荷をもたらしますが、止んでしまえば潤いは急速に衰えて負荷対策だけが残ってしまいます。

一方で、ブログやコンテンツ制作を通じた堅実な長期的な集客は、しとしとと降る長雨のようです。派手さはありませんが、時間をかけてサイトの土壌を潤し、枯れることのない着実なストック型の流入という貴重な恵みをもたらします。

雨で活動が制限されることの多いこの季節こそ、地道なコンテンツ発信で「憂いの雨」を「恵みの雨」に変えましょう。